

未来工房へようこそ！

Willkommen zur Zukunftswerkstatt!

皆さん「モデレーター: Moderator」の村上敦です。日本ではワークショップの司会者は「ファシリテーター: Facilitator」と呼ばれていますが、「進行役」「容易にする人」「促進する人」という意味合いのこの言葉は、なんだか私自身にとってしっくりきません。そこでドイツ語では一般的な「仲裁者」「調停者」という意味合いのモデレーターというタイトルを自らに名付けさせていただきます。

モデレーターは船でたとえるなら、舵手です。船の進行方向を定め、命令を下すのは船長、つまり参加者の皆さんです。今回の未来工房がどこに向かうのか、どのぐらいの速度で進行し、そこには何が待ち受けているのか、当日は船長の指示を楽しみにしています。

諸事情により週末 2 日間開催の通常未来工房のバージョンを実行することは叶いませんでしたが、10月28日(日)に時間短縮バージョンでのプレ未来工房を開催する運びとなりました。具体的には9時から17時の間の5~6時間ほどを利用する予定です。もちろん、十分な時間的余裕がないことから、完璧な成果を導くのは難しいかもしれません。ただし、この未来工房の趣旨や手法については、十分に知って、体験いただく機会になると思いますし、優れた船長の指示によっては、思いがけない成果も収穫することができるでしょう。

また、未来工房は、実はこの挨拶文を読まれた瞬間からはじまります。ドキドキ・ワクワクの1日を演出するために、船長には航海図ともいえるべき以下の事柄を頭に入れていただき、しかるべき準備をよろしく願います。

*「人間は自身の暮らしを自らの手によって決めるべきである
—他者による取り決めに対するカウンターコンセプトが未来工房では模索される」*

未来工房を開発した未来研究者ロベルト・ユンクの理念

2012年10月1日 モデレーター 村上 敦

今回の未来工房のテーマ:

舵手であるモデレーターが、船長の命令を超えて、2つだけ強力な強制力を持っているものがあります。それは未来工房の「テーマの範囲の指定」と未来工房で使われる数々の手法の「ルールの適用」です。荷主の意向で船の最終目的地が決まるように、未来工房も目的地は最初から決められていなければなりません。未来工房は海賊船ではありませんから、船長は100%気ままに航海を続けるわけにはゆかないのです。そこへ向かうルートやスピード、停泊地を決めるのは船長です。天候などの条件により臨機応変に決断することも船長の権限で願います。ただし最終目的地は以下のように決まっています:

「久留米市の未来の交通」を提案する

この分野限定に関する詳細は、モデレーターである村上から当日に詳しくお話します。また次ページの準備する項目をお読みになれば、船長の皆さんなら何を言わんとしているか察しがつくことでしょう。

この未来工房を主催している船主、荷主とも言える久留米市のイニシアチブ「持続可能なまちづくり研究会」では、これまでに様々な勉強会を開き、久留米の交通について議論してきました。その中には「トラムを走らせたい！」など、様々な将来への視点も含まれていますが、どちらかといえば、現状を理解することのほうに力が入れています。そこで、今回は、そうした積み上げられてきた勉強会の内容を、未来方向に舵を切るため、単なる市民の希望で終わるのではなく、実現可能な提案として「久留米市の未来の交通」を提言するために今回の未来工房は開催されます。

未来工房のルールと準備

船の中には規律とルールが存在します。それを脱すれば船長といえどもその権限は剥奪されることとなります。未来工房にも、それと同じようにルールがあります。そのルールはときには船長である皆さんの議論で決められたり、変更されたりすることもあります。手始めのルールはモデレーターである村上が宣言します。

個々のルールについては、当日のそれぞれの段階で、その段階が開始される前にモデレーターから皆さんに紹介されます。当日前までの準備の段階で宣言されるルールは以下のようなものです。ルールにきちんと対応し、当日を迎えられることに期待しています。

1 つ目：範囲と輪郭の確認

事前準備として、以下の点だけよろしくお願いいたします。

- ・この未来工房の案内と同時に添付しましたファイル「配布資料 01」と「配布資料 02」の内容を一度「すらっと」お読み下さい。細かな点までは検討したり、注意して読み進む必要はありません。お読みになれば、今回のテーマの「範囲」「輪郭」がおよそ理解されると思います。

- ・「配布資料 02」を A4 に印刷して下さい。また、当日には印刷した資料を持参ください。

2 つ目：不満を叩きつける

- ・電話や周りの人が気にならない環境を 30 分だけ、お作りください。就寝前に机に向かうのも良いでしょうし、当日の朝、30 分だけ早起きして時間を作るもの良いでしょう。皆さんにとって 1 つの物事だけに集中できる 30 分の時間を作り出して頂きたいのです。

- ・白紙の A4 の紙 1 枚と太字のマーカー、あるいはクレヨンをご準備下さい。色は黒色をお願いします(太字の筆ペンでも構いません)。A4 の紙を横向きに置き、紙がより横長になるように半分に折ってください。それからもう一度半分に折ってください。紙を広げます。5.2 センチ×29.7 センチの横長のフィールドが 4 つできたことを確認してください。

- ・現状のあなたの暮らしの中で、**交通、移動**に関することについて、**不満に思っていること、変えてゆかなくやらないと感じていること**は何かを 15 分間、考えてみてください。何から何まで想いを馳せる必要はありません。ポツと思いついたことに少し想いを巡らす程度です。またこれは自身の

仕事のことでなく、あくまで、生活者、一市民として(もちろん通勤も含めて)、あなたの「暮らし」についての不満に想いを巡らしてください。

・15分経過したところで、想いを巡らした現状に対する「不満なポイント」について、箇条書きで簡潔に取りまとめるように思考してください。ある程度考えがまとまったところで、先ほど準備したA4の紙に、その「不満ポイント」を記します。その際のルールは以下のようなものです。

・4つのフィールドがありますが、一番の上のフィールドは空白にしておいてください。

・あなたは最大3つまでポイントを埋めることができます。ポイントは1つでも構いませんし、2つでも構いません。

・1つのポイントにつき、1つのフィールドをご利用下さい。また箇条書きのポイントは1行で収まるように配慮ください。準備された太字のマーカーなどで、あくまで箇条書きですから、20字程度で、フィールドに大きく書き記してください。

3つ目:当日の準備

・当日、10月28日(日)に会場(久留米市市役所2F「くるみホール」)に、開始時間である9時に遅れないようにお集まり下さい。そのときの持ち物は以下のようなものがが必要です。遠足に行く前日の子供がリュックサックに準備するように、前日までに以下のものを揃え、当日にお持ち下さい。

1. 「配布資料02」の印刷物
2. **2つ目**で準備したA4の紙
3. 太字のマーカー、あるいはクレヨン。色は「赤と黒」の2色
4. 参加費(一般3000円、学生1500円)
5. お昼のお弁当(おにぎりなど)
6. 自分が、久留米の未来を決めるんだという決意、ワクワク感

それでは、当日に皆さまにお会いできることを楽しみにしています！